

日時：平成24年12月18日（火）13：30～15：30
場所：花川南コミュニティセンター 多目的ホール

【 当 日 の 内 容 】

13：30

- ◆ 開会

13：30～13：35

- ◆ 本日の進め方（事務局／株ドーコン）
 - ・グループ別意見交換の進め方

13：35～13：55

- ◆ 地区防災計画（案）について（事務局／株ドーコン）
 - ・地区防災計画（案）および防災ガイドの説明

13：45～15：00

- ◆ グループ別意見交換
 - ・計画案および防災ガイドについて意見交換
 - ・今後の実践について意見交換

15：05～15：30

- ◆ グループ別意見の発表
 - ・各グループ代表者から発表

15：30

- ◆ 閉会



◆グループ別意見の概要

A・C・Eグループ（6名）

- ・『非常時の備蓄品』は、1人1日どの程度必要なのか目安となる量を示すなど、各企業で用意しやすくなるためにわかりやすくした方が良い。
- ・防災ガイドについて、全体的に表現が細かいので、何を知ってほしいのかが伝わるようにキャッチフレーズを書く程度にした方が良いのではないか。
- ・防災マップは航空写真だとわかりにくく、建物の場所や避難場所をわかりやすくした方が良い。
- ・マップに自社の所在地を記入できるようにしておくの良いと思う。また、避難先の地区の地図が見えるようにレイアウトすることも必要。
- ・自動車による避難で渋滞が起きることがないように、自動車を乗り捨てるのではなく、自動車を使わない避難（徒歩）を前提にした避難の方が良いのではないか。



Bグループ（7名）

- ・防災ガイドは本当に必要なところをポイントとして表現した方が良い。例えば、災害伝言版などを実際に使用する際、防災ガイドに使用方法などの記載があると良い。
- ・新港地区の場合は、小樽市と石狩市の情報を連携するなど、市町村間の連携もあった方が良い。
- ・BCPに基づく訓練は企業単位でやらざるを得ないと思う。
- ・自動車避難のルールづくりについては、避難ルートなど、石狩市がどの程度まで市としての意思を持つのかははっきりしてもらいたい。訓練は難しい部分もあるため、シミュレーションによる想定をしてもらうと有り難い。
- ・また避難経路の看板を設置し、避難ルートを普段から意識してもらうことも一つの方策だと思う。
- ・国道337号線は普段から渋滞しているので、災害時はより混雑することが予想される。国道を通行止めにするなどの対策が必要であると思う。国との調整が必要になるだろう。



Dグループ（6名）

- ・防災ガイド（冊子）は、どこに視点が置かれているのかが、あまり伝わらない。
- ・マップに避難ルートの矢印が記載されているが、津波を考えると、本当に避難ルートとして機能するかが疑問である。少なくとも、基本的に札幌市方面なのか浜益方面なのか、どちら方向に逃げるのか方向性を定めておく必要があると思う。
- ・停電になった際、情報をどこで取得すれば良いか把握していない。さらに、停電の可能性も考慮すると、非常用備蓄品の中に電池も必要なのではないか。
- ・市の備蓄品がどこにどれだけあるのかについても明記すべき。

